



「ケシ」の花に 気をつけましょう！

ケシの仲間は、春から初夏にかけて色鮮やかな美しい花を咲かせるものが多く、ガーデニングや切り花用として人気があります。(ポピー、ヒナゲシ等)。

しかし、ケシには法律で栽培が禁止されている「ケシ」と、植えてよい「ケシ」があります。植えてはいけないケシが観賞用として栽培されている場合や、飛散した種が繁殖し、知らない間に自宅の庭先に自生していることもあります。ケシの仲間は非常によく似ていますが、外観の特徴から区別することができます。植えてはいけないケシは、たとえ観賞用であっても栽培することが禁止されていますので、正しく見分けましょう。

植えてはいけないケシの見分け方

種類	草丈	葉の色	葉の特徴	花	毛
ケシ (ソムニフェルム種)	100～160cm	白味を帯びた緑色	・ふちが不規則なぎざぎざ ・葉の切れ込みが浅い ・茎上部の葉は茎を抱き込む	・大きさ径8～12cm ・一重咲きは花びら4枚、 八重咲きがある ・色は赤、桃、紫、白など ・花びらの基部に斑点があるものもある	・毛が少ない ・葉の裏の主脈やつぼみの下の茎にあることがある
アツミゲシ (セティゲルム種)	50～100cm	緑色	・ふちが不規則なぎざぎざ ・葉の切れ込みがやや深い ・茎上部の葉は茎を抱き込む	・大きさ径6～8cm ・花びら4枚 ・色は薄紫、赤など ・花びらの基部に斑点があるものもある	・葉の裏の主脈やつぼみの表面、つぼみの下の茎にある
ハカマオニゲシ	60～100cm	濃い緑色	・鳥の羽のような(羽状)切れ込みがある ・花の真下に苞葉がある	・大きさ径9～12cm ・花びら4～6枚 ・色は深紅・花びらの基部に黒紫の斑点がある	・全体が白く硬い毛で覆われている ・つぼみの表面の毛は寝ている

・ケシの見分け方については、厚生労働省のホームページ「厚生労働省 ケシ 見分け方」で検索するか、右記のQRコードから閲覧してください。
・ケシ(植えてはいけない「ケシ」と疑われるもの)を発見した場合は、富士・東部保健所(Tel.0555-24-9033)にご連絡ください。



ナガミヒナゲシについて

ナガミヒナゲシはヨーロッパ地中海沿岸を原産とする一年草で、5月頃にポピーに似たオレンジ色の花を咲かせるケシ科の植物です。繁殖力が強く周囲の生態系に悪影響を及ぼす恐れがあり、市内でも繁殖が確認されています。

ナガミヒナゲシの茎や葉には植物毒である「アルカロイド」が含まれています。アルカロイドを含む黄色い汁に触れると、皮膚の弱い人はかぶれやただれを起こす恐れがあるため、素手では触らないように注意をしてください。

